

## 第2期中期ビジョンについて

2016年の創立100周年に「照明学会マスタープラン」が策定されてから6年が経過した。昨今の社会情勢の変化を踏まえ、当初の長期ビジョン(グランドデザイン)を継承しながら、新たな中期ビジョン(マスタープラン 2022)を策定した。今後はこの方針・政策に従い、事業ごとに具体的な計画を立案し、学会活動を推進する。

### 長期ビジョン(グランドデザイン)

ICT(Information and Communication Technology: 情報通信技術)の普及と産業・経済のグローバル化、地球規模での環境・エネルギー資源枯渇の問題、また人口減少と高齢化社会など、人類が向かうべき方向性の模索と、日本が取り組むべき課題の解決は複雑であり決して容易ではない。照明学会は将来にわたり日本と世界の変化に対応しながら、文明の象徴である照明に関する学理とその応用に関する調査や研究に先導的に取り組み、広い視野からの融合・連携を通じて得られた知識や成果によって学術・技術・文化および関連事業を振興し、次世代の人材を育成するとともに人類と社会の持続可能な発展に寄与する。

### 中期ビジョン(マスタープラン)

ニューノーマル時代の学会活動再構築

### 重点活動方針

- ① 照明に関する多様なネットワークのハブとしてのプレゼンスの確立
- ② 照明に関する学術・技術の融合的発展と国際化の推進
- ③ 照明を担う多様な人材の創出、育成とその支援
- ④ 照明の標準化・規格化の積極的推進
- ⑤ 照明に関する学術的知見に基づく社会から信頼される情報発信と啓発活動の推進
- ⑥ 学会の運営基盤の強化

### 政策

研究調査・技術開発・デザインの実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>複眼的な視点から総合的学術領域を構築し、照明の価値を高める</li> <li>他学会協会や官庁と協調した研究調査活動を行う</li> <li>会員相互の情報交換を活性化し、人的資産を活用する</li> </ul>
優れた研究・技術・デザインの公表と表彰	<ul style="list-style-type: none"> <li>優秀な研究発表、先進的な技術開発、及び洗練されたデザインを公表・表彰する</li> <li>将来を担う研究者・技術者・デザイナーの育成を支援する</li> </ul>
会員および一般社会への照明技術の普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>照明に関する最新情報を会員に提供し、会員サービスを充実させる</li> <li>照明に関する知識・技術を親しみやすい形で一般に情報提供する</li> <li>通信教育により照明の知識を教授する</li> </ul>
時代に対応した情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種メディアを活用した広報活動を実施する</li> <li>照明に関する技術や学会活動等をウェブサイトを通じて分かり易く周知する</li> </ul>
グローバル化への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界に向けた情報発信体制を構築する</li> <li>国際活動を通して、国際的な貢献を行う</li> </ul>
持続可能な学会活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>学会組織を見直し、効率的かつ持続的な学会活動を推進する</li> <li>支部間で情報共有を図るとともに、支部活動を活性化する</li> <li>事務機能を効率化し、学会活動を円滑に行う</li> </ul>